

126

次号
予告

薬のチェック
127号は

●認知症ガイドライン 2026

●薬害は終わっていない⑤

薬害スモン

など

事務局だより

★年6回の編集会議はWebで。メンバーの居住地は秋田から福岡まで幅があり、対面は彼らの貴重な休日を使う1日仕事になる。多くが常勤職や開業医で子持ち。日程の調整がしづらい。かつ、会議室賃料や旅費交通費などの出費は資金の乏しい非営利団体には痛い。休日に自宅にいて会議ができるWebは実に便利だ。でも、対面での意見交換をしたい、せめて年1回……と帳簿とにらめっこ。

編集後記

★鉄腕アトムに夢中になって育った世代ですが、21世紀は人間とロボットの共存が現実のものとなり、少々怖い気があります。特にAIを巡っては、進化のスピードに驚くばかりで、今後、人間の知恵とどちらが正しいのかを争う場面が増えて来るような気がします★一方で、かつて科学技術において世界を席巻した日本の凋落ぶりは目をおおいたくなるばかりです。最先端の技術・知識を求めて米国や中国に拠点を移す企業があとを絶ちません★創業においても事情は同じです。第一三共や武田薬品、エーザイなど有力な企業が中国での新薬開発に力を割いています。かつて遣唐使が最先端の技術・知識を求めて旅立ったように、日本の製薬企業は、西洋医学を学びに中国へ旅立っているわけですね★このような事態をもたらした背景には、日本の医療政策がエビデンスを軽視し、本当に役に立つ医療を守ってこなかったことがあります。エビデンスを適切に使う人間の知恵が問われています。(も)